

学力向上に向けた取組

函館市立椴法華小学校

1 課題

基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着
自分の思いを豊かに表現する子の育成

2 課題解決の具体策

表現力向上に関わる活動の推進
とどっこタイムの工夫と改善

3 取組の概要

について

子どもたちの発言が認められ、間違いをおそれることなく安心して過ごせる学級作りをベースに、表現力向上のための取組をしている。

各教科においては、発表の仕方のパターンを身につけさせ、発表の機会を多く設けてきた。また、「書く力」の向上をねらい、日記指導やノート指導に力を入れてきた。

また、特別活動では、隔週で行っている全校朝会の中に発表集会を位置づけている。学年発表として、

1年生：学芸会感想，2年生：冬休み体験発表，3年生：夏休み体験発表
4年生：運動会感想発表，5年生：冬休み体験発表・宿泊研修報告会
6年生：夏休み体験発表・修学旅行報告会

を行い、全員が全校児童の前で発表する機会を設定している。高学年については所属する委員会の発表も行っている。また、始業式や終業式では、各学年で割り当てをして、代表が意見発表を行っている。

について

毎日8：15から8：35までの20分間を「とどっこタイム」として日課表に位置づけ、主に全校一斉の活動を行っている。計算（月・木）、読書（火）、体力作り（水）、合唱・朝会（金）と曜日ごとに内容を設定している。具体例として、計算では、B5版に5問のプリントを用意し、各自で取り組んで自己採点をした後、学年担当の先生にチェックしてもらう。間違っただ問題はやり直して、クリアしたら難易度の高い次のプリントに進むというステップアップ方式の活動である。少人数であるという特性を生かし、一人ひとりのつまづきにたいねいに対応して計算力向上を図っている。



4 成果と課題

子どもの自信をもった発表が多く見られるようになり、書く方もワークシートやノート作りの日常的な取組で力がついてきた。計算については、一人ひとりが自分のペースで楽しみながら進めていて、「計算が好きだ」と答える子どもが増えている。

計算の取組の成果については、学年末に検証する予定である。また、文章題が苦手な子どもが多いので、文章題についての取組も始めている。